



ふいーるど みゅーぜあむ なみのなわ

行って・見て・考えて

上三川町教育委員会

「ふいーるど みゅーぜあむ かみのかわ」 を利用する皆さんへ

「ふいーるど みゅーぜあむ」とはあまり聞きなれない言葉かも知れません。これは英語の「Field Museum」（野外博物館）をひらがなで表記したものです。

博物館では一つ一つの展示資料を見ながら、館内をひとめぐりして行きます。これになぞらえ、上三川町の文化財を別々にではなく、ひとめぐりして郷土を知ってもらおうということを願ってこのように名づけました。

内容的には、小学校高学年の皆さんにもわかるよう、できるだけやさしい言葉をつかうようにしましたが、少しむずかしい言葉もあります。これらについてはお父さん・お母さんからのご説明をお願いいたします。

町をよく知っているという人も、初めてこの町にいらした方も、この町が一つの博物館であると思い、この本を片手に家族で歩いて見てください。きっと、そこには新しく、そして魅力的な上三川が見えてくることでしょう。

上三川町教育委員会

教育長 高橋 達

文化財を見るにあたって

上三川町には大昔からの文化財が数多くあります。自分たちの町にある文化財を知ることは歴史を身近に感じさせ、郷土に対する関心を高めるものです。

このようなことから、上三川町の人たちや町外からの見学者の案内を目的に、上三川町を3つのコースにわけた史跡めぐりのガイドブックをつくりました。

※お 願 い

文化財はむかしの人々の生活を知るための大切な資料です。見学するときはルールをまもって正しく見学しましょう。

- ① 文化財をこわさないようにしましょう。
- ② 文化財のまわりのたんぼや畑に入らないようにしましょう。
- ③ 私有地へ立ち入るときには、地主さんや近所の人にあいさつをしましょう。
- ④ 交通事故に気をつけましょう。
- ⑤ 感想をメモして、郷土の歴史を考えてみましょう。

※見学の時には

文化財を見学に行く時、特に屋外の古墳など見に行く時には、長袖シャツ・ズボン・運動靴といった格好が良いでしょう。また、地図・カメラ・軍手等をもって行くと便利です。

※もっとくわしく文化財について知りたい方に

次のような本が参考になります。いずれも町の図書館にありますので御活用下さい。

『上三川町の文化財』	上三川町教育委員会
『上三川町史』	上三川町史編さん委員会
『上三川町の伝説と民話』	上三川町文化財研究会
『続 上三川町の伝説と民話』	上三川町文化財研究会

上三川町ふるさとめぐりモデルコース

しらさぎ舞う

上三川コース

概要 上三川小学校を起点・終点としたコースです。上三川城とそれに関連したお寺や、古墳などを見ることができます。

(上三川小学校) → 白鷺神社③⑦ → 長泉寺①・④② → 普門寺③・③③ → 善応寺③④・④⑧ →
上三川城址 → 井戸川のケヤキ③⑥ → (坂上小学校) → 坂上古墳群⑤ → 野外石仏地藏③① →
かぶと塚古墳石室⑧ → 愛宕塚古墳石室④① → (上三川小学校)

せせらぎ聞こえる

本郷コース

概要 本郷小学校を起点・終点としたコースです。平安時代に造られた満願寺やねずみ観音の伝説・磯川の自然などに触れることができます。

(本郷小学校) → 満福寺④③ → 満願寺②・②⑤・②⑧・④⑨ → 高霞神社②⑨ → 西木代高霞神社②① →
薬師堂②③・②④ → (本郷北小学校) → 西赤堀狐塚古墳 → 上郷愛宕神社古墳⑦ → 磯川遊歩道 →
上郷のヒイラギ③⑧ → 上郷瓢箪塚古墳⑥ → ねずみ観音 → 上郷神社⑬ → (本郷小学校)

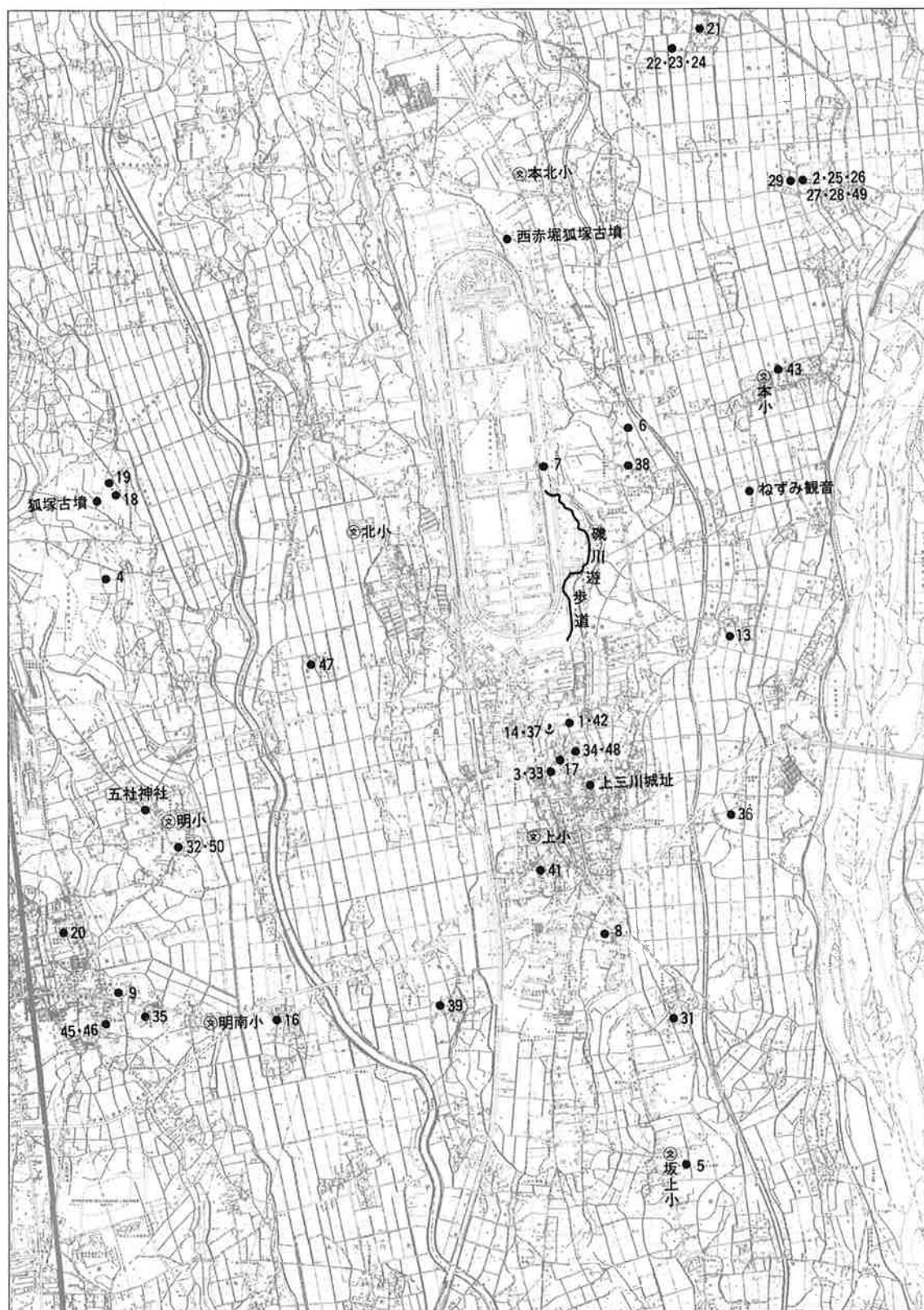
ゆうがおの里

明治コース

概要 明治小学校を起点・終点としたコースです。大きな古墳がまとまっている神主古墳群や、多功城関係の遺跡を見ることができます。

(明治小学校・北小学校) → 神主古墳群(狐塚・浅間神社⑬・後志部④)・上神主廃寺址⑬ →
多功天満宮②⑩ → 宝光院④⑤・④⑥ → 見性寺③⑤ → 多功城址⑨ → (明治南小学校) →
浄光寺③② → 五社神社 → (明治小学校)

上三川町文化財地図



※全図・本文の見出しの番号は、25・26頁の文化財指定番号を用いてます。





モデルコース

- (上三川小学校) → 白鷺神社 → 長泉寺 → 普門寺
- 善応寺 → 上三川城址 → 井戸川のケヤキ → (坂上小学)
- 坂上古墳群 → 野外石仏地蔵 → かぶと塚古墳石室
- 愛宕塚古墳石室 → (上三川小学校)

上三川コース

ふ もん じ 普門寺 (3) ・ (33)

普門寺は室町時代に開かれたといわれるお寺です。

境内には樹齢約300年といわれるイチョウがあり、また、江戸時代の駕籠^{かご}が保管されています。



しらさぎじんじや 白鷺神社 (37)

白鷺神社は1000年以上前にまつられたといわれる古い神社です。市街地のそばでありながら静かなたたずまいを見せています。

神社には今は採掘禁止になっている日光石^{とろい}で造られた鳥居があり、また、4月15日と11月16日には神楽^{かぐら}が行われます。



かみのかわじょうし

上三川城址

上三川城は建長元年（1249）に築かれ、慶長2年（1597）に落城するまで約350年続いた城です。本丸の土塁や堀はよく残り、公園として整備されています。



ぜん のう じ

善応寺 (34)・(48)

このお寺は元応二年（1319）上三川城主横田氏により建てられたといわれています。

本尊の釈迦如来坐像は、鎌倉時代に作られたものです。境内には上三川城主横田家の墓があります。



初代	横田頼業（よりなり）	上三川城を築く（1249）
二代	時業（ときなり）	
三代	親業（ちかなり）	正清寺を建てる（1325）
四代	泰業（やすなり）	
五代	貞朝（さだとも）	善応寺を建てる（1319）
六代	泰朝（やすとも）	
七代	師綱（もろつな）	茂原の戦いに出陣（1380）
八代	綱業（つなり）	
九代	綱俊（つなし）	
十代	今泉盛朝（もりとも）	長泉寺を建てる（1505）
十一代	盛泰（もりやす）	
十二代	盛高（もりたか）	
十三代	泰高（やすたか）	
十四代	泰光（やすみつ）	
十五代	高光（たかみつ）	上三川城落城（1597）

上三川城主（上三川町史による）

ちょう せん じ

長泉寺 (1)・(42)

このお寺は永正元年（1504）上三川城主今泉氏により建てられたといわれています。

本尊十一面観音は鎌倉時代の作です。境内には推定樹齢約500年のコウヤマキや、上三川城主今泉家の墓などがあります。



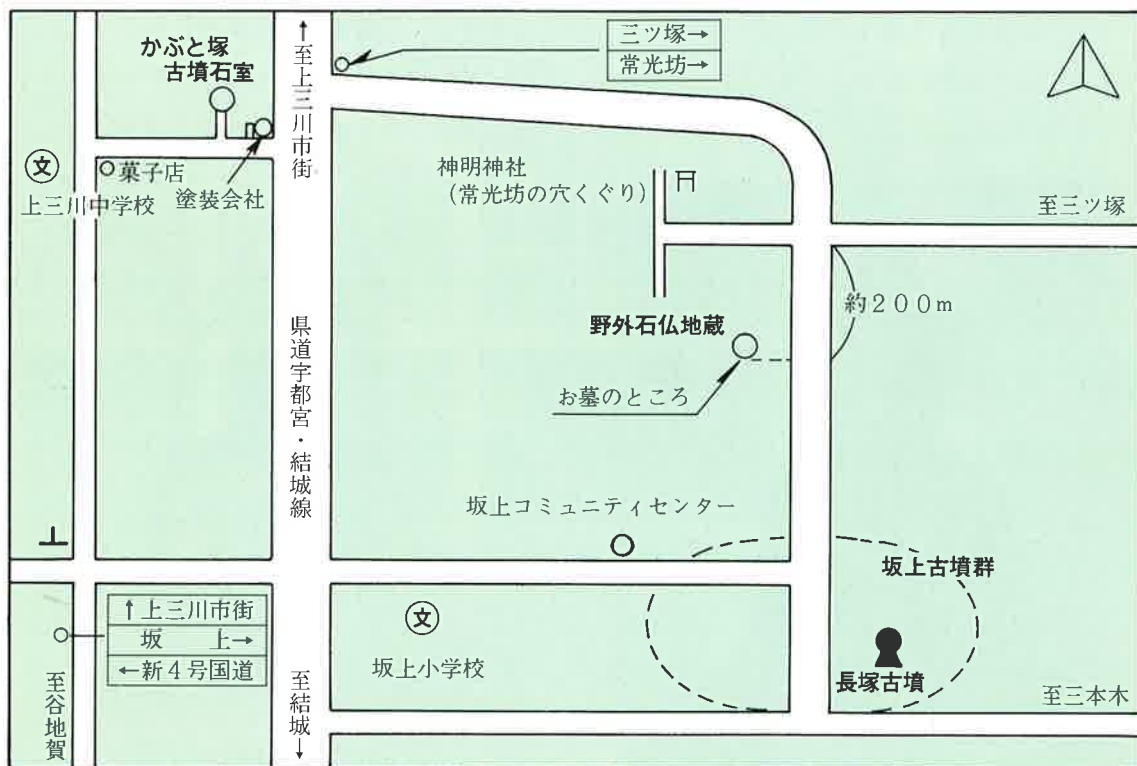
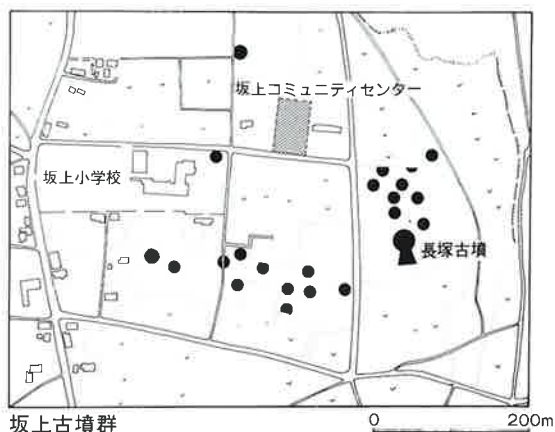
い ど がわ
井戸川のケヤキ (36)

この木は珍しい形をしています。地上1mのあたりで3本の本がくっつき、一見1本の木のように見えます。さらに西側の一枝が、3.5mも離れた別のケヤキとついています。



かかうえ こ ふんぐん
坂上古墳群 (5)

この古墳群は、6世紀の古墳群で、23基の古墳がとなりあうように残っています。現在残っている古墳のうち、最も大きい^{ながつか こふん}長塚古墳は南東を向いた前方後円墳で、全長42mあり^{ぜんぽうこうえんふん}ます。



や がいせきぶつ じ ぞう

野外石仏地蔵 (31)

この地蔵は、姿の良い町内最大の野外石仏です。いい伝えによれば、むかし普門寺の東にあった三体地蔵の一つで、明治時代の初めは**いぶつきしゃく** 廃仏棄釈により破壊されることを恐れた当時の人々が**じょうこうぼう ひがしたて ももはた** 常光坊・東館・桃畑に各一体ずつ移したものとわれています。



かぶと塚古墳石室 (8)

かぶと塚は6世紀の直径約40mの円墳で、**かぶと** 姿が兜に似ていたことから、この名がつけられたといわれています。

古墳の土は長い間に取り除かれ、今では大きな石を組み合わせた石室がむき出しになっています。



あた ご づ か こ ふんせきしつ

愛宕塚古墳石室 (41)

この石室は、昔この地にあった直径約40mの愛宕塚古墳の横穴式石室で、6世紀に造られたと考えられます。

古墳の土は長い間に取り除かれ、石室はこわれて埋まっていたましたが、その後掘りだされ、30mほど北に移転・復元されました。



せせらぎ聞こえる

本郷コース

にしきのしろたか おじんじゃこふん
西木代高麗神社古墳

やくしどう せきどう
薬師堂・石幢

江戸時代の信仰を伝える

至宇都宮

県道築瀬・上三川線

本郷北小学校

汗十字路

県道雀宮・真岡線

にしあかほりきつねづかこふん
西赤堀狐塚古墳
整備された墳丘が見られる

農協
本郷倉庫

あたこじんじゃこふん
愛宕神社古墳
8月24日子供相撲
が奉納される

かみこつひょうたんづかこふん
上郷瓢箪塚古墳
町内で一番大きな古墳

農協
本郷支所

本郷小学校

まんぶくし
満福寺
イチヨウの古木

県道岡本・上三川線

なかにあしんしゃ
高麗神社
古木アカガシ

まんがんし
満願寺
建物をはじめ、数多くの
文化財が残る

至真岡
(宮岡橋)

蓼沼緑地



モデルコース

(本郷小学校)→満福寺→満願寺・高麗神社→西木代高麗神社→
薬師堂→(本郷北小学校)→龍の口→西赤堀狐塚古墳
上郷愛宕神社古墳→磯川遊歩道→上郷のヒイラギ→上郷瓢箪塚古墳
ねずみ観音→上郷神社→(本郷小学校)

かみごう

上郷のヒイラギ (38)

上郷の仁平軍治さんのお宅にあるヒイラギは、樹齢 250年という古い木ですが、今も元気でよい香りの花をつけます。

古木であるため、ヒイラギ特有の葉のとげがほとんどなくなっています。



かみごうひょうたんづか こ ふん

上郷瓢箪塚古墳 (6)

上郷瓢箪塚は6世紀に造られた、南向きの前方後円墳です。大きさは全長68mあり、町内で最も大きい古墳です。

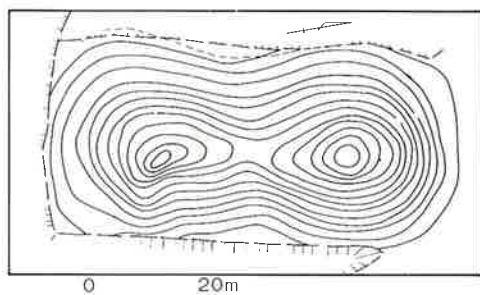
この地域では「^{ごりょうち}御陵地」と呼ばれ尊ばれています。

かみごうじんじゃ

上郷神社 (13)

うっそうとした森に包まれたこの神社は、古くから近隣の信仰の対象となっています。

今でも11月15日のお祭りには^{かぐら}神楽が行われます。



上郷瓢箪塚古墳を上から見た図(「栃木県史」より)

〔ねずみ観音〕

昔、むかし、馬になりたいと願うねずみがいました。ある夜、夢でおじぞう様がねずみに、こうおっしゃいました。「35日間休まずに、私に世の中のことを教えてくれたら、お前の願いをかなえよう。」そこでねずみは毎日せっせとおじぞう様にお供え物を運んでは、世の中のできごとを教えました。

ところが、いよいよ願いがかなうという日、ねずみはうれしくて興奮のあまり、通りかかった女の子のお菓子をうばい、おじぞう様に供えて「早く馬にしてください。」とたのみました。おじぞう様はだまっとうなずくと「よろしい今すぐに馬にしてあげよう。」とおっしゃいました。

喜んだねずみは、馬になったつもりで小川をのぞきました。するとどうでしょう。その顔は、確かに馬なのですが、体は今までどおりの小さなねずみのままだったのです。ねずみははずかしさのあまり、体をかくしたくて、おじぞう様の後ろの石をほり続け、とうとう死んでしまいました。

それをあわれに思ったおじぞう様は、死んだねずみを^{ばとうかんりん}馬頭観音の姿にかえておじぞう様とともに人々や馬の幸せを守るようにしました。

まん がん じ
満願寺 (2)・(25)～(28)・(49)

満願寺には本尊薬師如来坐像をはじめ、平安時代から鎌倉時代にかけての多くの仏像があり、このころにかなり大きなお寺として建てられたと考えられます。このお寺には数多くの文化財が残されています。

ろう もん
楼門①二階造りの門。江戸時代始めの建物
やくしどう
薬師堂②江戸時代中頃の建物。

え ま
絵馬③町内最大級の江戸時代の絵馬。

カ ヤ 樹齢約500年。栃木県名木百選にも選ばれました。



①



②



③



薬師如来(やくしにょらい)

阿弥陀如来(あみたにょらい)



天部(てんぶ)



不動明王(ふどうみょうおう)



日光菩薩(にっこうぼさつ) と 月光菩薩(がっこうぼさつ)



仁王(におう)



仁王(におう)

仏 様 の か お

たか お じんじゃ

高竈神社 (東汗) (29)

満願寺と地続きの

高竈神社の境内にあるアカガシは、樹齢230年の古木で、鳥居におおいかぶさるように茂っています。



たか お じんじゃ こ ふん

高竈神社古墳 (西木代) (21)

この古墳はかなり変形していますが、埴輪をもつことがわかっており、6世紀頃の古墳と考えられます。



やく し どう

薬師堂 (西木代) (23)

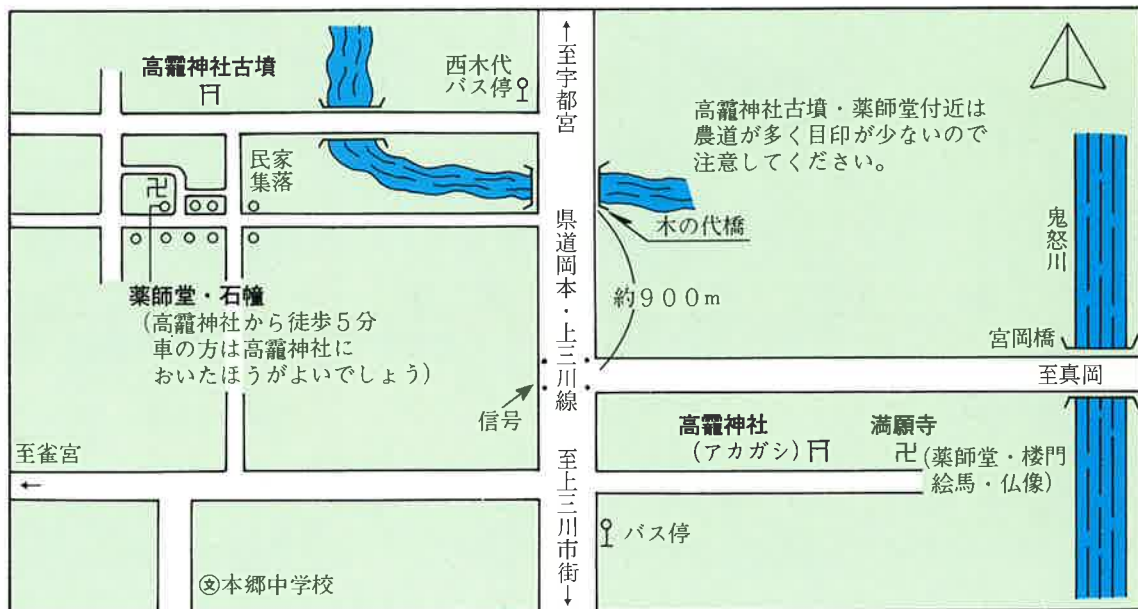
三間堂（柱と柱の間が三つある建物）で、軒をささえる組みものが柱の上ばかりでなく、柱と柱の間にもあるのが特徴です。江戸時代中期頃の建物と考えられます。



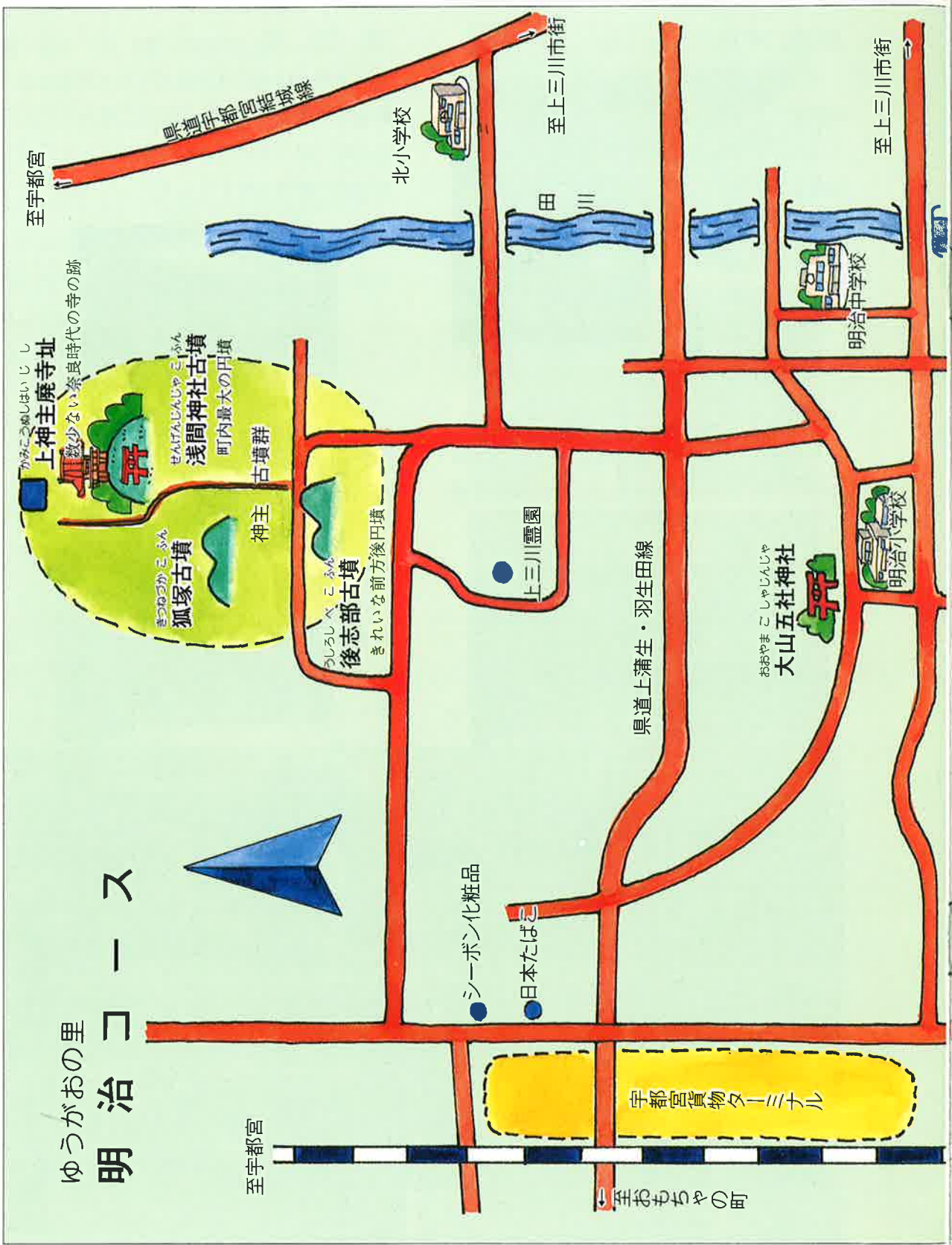
せき どう

石 幢 (24)

石幢とは石塔の一種で、この石幢は石燈籠のような形をしています。町内でも数少ない貴重なもので、むかしこの地方に六地藏信仰があったことを示しています。



ゆうがおの里 明治コース



上三川都宮線

農協倉庫

たこうはいじし
多功廃寺址

天満宮境内に礎石が残る

たこうじょうし
多功城址
土塁が残る

けんしょうじ
見性寺

多功城主の墓がある

明治南小学校

ほうこういん
宝光院
本尊は鎌倉時代の作

上三川高校

至薬師寺

至小山

至壬生

至壬生

県道真岡・石橋線

至真岡

モデルコース

(明治小学校・北小学校)→神主古墳群(狐塚・
浅間神社・後志部)→多功天満宮→宝光院→見性寺
多功城址→(明治南小学校)→浄光寺
五社神社→(明治小学校)

GS

しょうこうじ
浄光寺

大きな板碑・薬師如来立像がある

明治コース

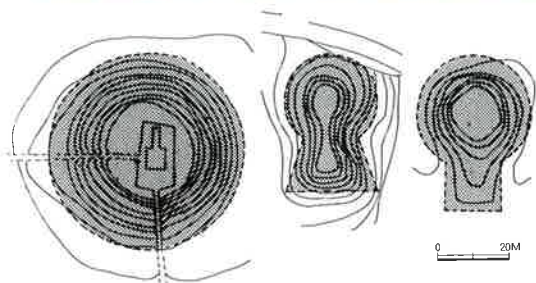
せんげんじんじや こふん 浅間神社古墳 (18)

浅間山古墳は5世紀に造られた、直径約58mの円墳です。発掘調査の結果、県内最古の大型円墳であることがわかりました。古墳の上には浅間神社がまつられており、「浅間山古墳」とも呼ばれています。



きつねづか こふん 狐塚古墳

狐塚古墳は、6世紀に造られた、前方部のやや短い、全長41mの前方後円墳です。発掘調査が行われ、日本でも数少ない人面付円筒埴輪などが見つかっています。



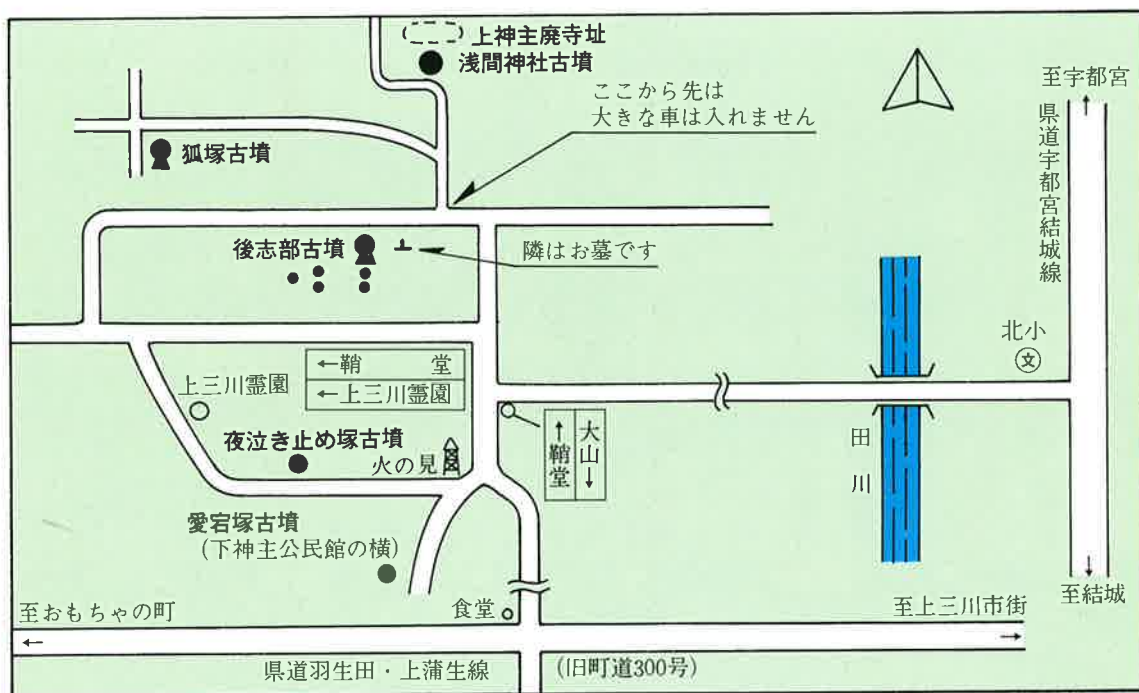
うしろし べ こふん 後志部古墳 (4)

後志部古墳は6世紀に造られた前方後円墳で、全長46mあります。この古墳の回りには5つの小さな古墳が残っており後志部古墳群として町の史跡に指定されています。

①浅間神社古墳 ②後志部古墳 ③狐塚古墳

円墳① 上から見ると、丸い形をしています。

前方後円墳②・③丸と四角を組合わせた形をしています。



かみこうぬしはい じ し

上神主廃寺址 (19)

この遺跡からは奈良時代（8世紀）のものと思われる瓦がたくさん見つかっています。その中には全国的に見ても珍しいほど多くの人名瓦（人の名をへらなどで刻んだ瓦）がありました。この遺跡は、寺または役所の跡と考えられます。



た こうはい じ し

多功廃寺址 (20)

この遺跡からは、奈良時代（8世紀）のものと思われる瓦が見つかっています。

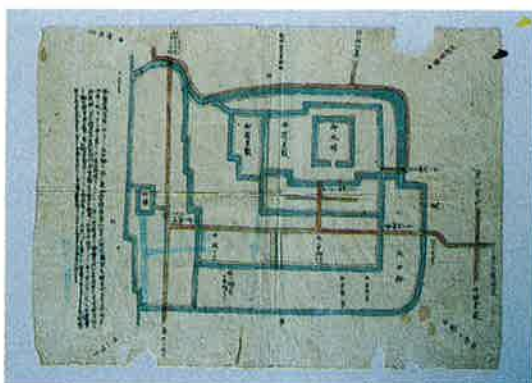
多功天満宮の境内には、付近からみつかった礎石が残っており、大きな建物が建っていたことがわかります。



多功城址 (9)

多功城は宝治2年(1248)に宇都宮の南方の固めとして多功石見守宗朝によって築かれ、慶長2年(1597)豊臣秀吉によって領地を没収されるまで349年続いた城です。

本丸跡の北側から西側と東側の土塁・堀の一部が残っています。



初代	多功宗朝 (むねとも)	多功城を築く (1248)
二代	家朝 (いえとも)	
三代	朝継 (ともつぐ)	
四代	朝経 (ともつね)	
五代	景宗 (かげむね)	
六代	宗秀 (むねひで)	
七代	宗冬 (むねふゆ)	茂原の戦いに出陣 (1380)
八代	満朝 (みつとも)	
九代	長朝 (ながとも)	
十代	昌綱 (まさつな)	
十一代	建綱 (たけつな)	
十二代	綱房 (つなふさ)	
十三代	興房 (おきふさ)	
十四代	建昌 (たけまさ)	
十五代	長朝 (ながとも)	五月女坂の戦いに出陣 (1549)
十六代	房朝 (ふさととも)	
十七代	秀朝 (ひでとも)	多功城廃城 (1597)

多功城主 (上三川町史による)

茂原の戦い 宇都宮基綱と小山義政が宇都宮市茂原で戦った合戦
五月女坂の戦い 宇都宮尚綱と那須高資・芳賀高照が喜連川五月女坂で戦った合戦

見性寺 (35)

見性寺は、初代多功城主多功宗朝が建てたといわれる、多功城主の菩提寺です。本堂左手奥には、多功城主の墓が整然と並んでいます。



宝光院 (45)・(46)

このお寺の本尊薬師如来坐像は、秘仏となっているため普段は見られませんが、鎌倉時代の代表的な鉄仏です。また、このお寺には鎌倉時代の大きな板碑が保管されています。



浄光寺 (32)・(50)

このお寺の境内には、鎌倉時代の大きな板碑2基と、鎌倉時代の薬師如来が保管されています。板碑は時宗の信者により建てられた供養塔と考えられます。



五社神社

五社神社は多功城の守りとして五つの神様をまつたことから、その名が付いたと言われています。

五社神社の付近は^{おおよそ}大山古墳群と呼ばれ、たくさんの古墳がありますが、神社のある場所も古墳であるといわれています。



郷土の偉人

—科学的農業を開いた—

た　むら　に　ざ　え　もん　よし　しげ 田　村　仁　左　衛　門　吉　茂

田村仁左衛門吉茂は、江戸時代も終わり頃の寛政3年^{かんせい}
(1791)河内郡下蒲生村(今の上三川町下蒲生)の代^{しもかも}
々名主をつとめる家に生まれました。

子供の頃からあまり勉強が好きではなかった吉茂で
したが、農業の仕事には一生懸命取り組みました。

ある年、吉茂の家の苗代^{いぬし}が猪に踏み荒らされ苗が足
りなくなったことがありました。しかたなく残った稲を広
い田に少しずつ植えて田植えをすませました。ところが
秋になると田村家の稲の実りは他の田よりずっとよかつ
たのです。

このことをきっかけに、吉茂は稲の薄^{うす}植えが収穫を高めたのではないかと考え、少しでも収
穫を高めようと作り方を研究しました。

稲だけでなく、麦・大豆・あわ・サツマイモなどについても研究し、種の選び方、種まきの時
期、肥料のやりかたなども本で調べたり、実験したりして確かめていきました。そして、これら
のことを「農業自得^{のうぎょうじとく}」という一冊の本にまとめました。



江戸時代の農業は技術があまり進んでいなかっ
たため、冷^{れい}夏、ひでりなどの天候によって凶作^{きょうさく}
になることが多かったのですが、この吉茂の教えの
ために近くの村ではひどい凶作にならないですん
だということです。

今も下蒲生の田村吉隆さんのお宅には、この「農業
自得^{げんぽん　はんぎ}」の原本と版木が残されています。

上三川町文化財年表

時代	年 代	上 三 川 町 の 文 化 財	栃木県の歩み	日 本 の 動 き
旧石器		◎上三川町に人が住み始める 殿山遺跡など	○葛生原人＝葛生町	○牛川人＝愛知県 ○三ヶ日人＝静岡県
縄文	約1万年 前	◎ムラがつくられるようになる 島田遺跡など	○大谷寺岩陰遺跡 ＝宇都宮市	○大森貝塚＝東京都
弥生	前3世紀 ～ 後3世紀	◎米をつくり始める 仏沼遺跡など		○登呂遺跡＝静岡県 ○卑弥呼女王となる
古墳	4～7 世紀	たくさんの古墳が造られる 後志部古墳群 坂上古墳群 上郷瓢箪塚古墳 愛宕神社古墳 浅間神社古墳 高麗神社古墳 かぶと塚古墳石室 愛宕塚古墳石室	○侍塚古墳 ＝湯津上村 ○琵琶塚古墳 ＝小山市 ○下野国府跡 ＝栃木市 ○下野薬師寺跡 ＝南河内町 ○下野国分寺・国分 尼寺が建立される ○勝道上人が日光を 開く ○道鏡薬師寺に流さ れる	○仏教伝来(538) ○聖徳太子の摂政始まる (593) ○十七条の憲法制定 (604) ○大化の改新(645) ○壬申の乱(672) ○大宝律令完成(701) ○奈良に都が造られる (701) ○東大寺大仏が造られる (752)
奈良		◎瓦を使った寺や役所が建てられる 多功廃寺 上神主廃寺		
平安		薬師如来坐像(満願寺) 阿弥陀如来坐像(満願寺)		○京都に都が造られる (794) ○藤原氏の摂関政治 ○保元の乱(1156) ○平治の乱(1159) ○鎌倉に幕府が開かれる (1192)
鎌倉	1248 1249 1313 1315 1329	多功城築城 上三川城築城 板碑(浄光寺) 板碑() 板碑(宝光院) 鉄仏薬師如来坐像(宝光院)	○宇都宮城築城	
室町	1597 1597	上三川城落城 多功城廃城	○宇都宮氏滅ぶ	○鎌倉幕府滅亡 (1333) ○室町に幕府が開かれる (1338) ○金閣寺が造られる ○応仁の乱(1467) ○鉄砲伝来(1543) ○キリスト教伝来 (1549)
江戸	1601	川名子村年貢割付状 篤籠(普門寺) 楼門(満願寺)	○日光東照宮造られ る	○江戸に幕府が開かれる (1603)
戸	1703 1716 1718 1841	鳥居(白鷺神社) 薬師堂(満願寺) 絵馬() 薬師堂(西木代) 「農業自得」の原本と版木	○二宮尊徳、烏山 藩領の復興を図る	

上三川町指定文化財一覧

指定 番号	指定年月日	種 類	物件（指定）名称	所 在 地	所 有 者 占 有 者	指定書交 付年月日
1	43.4.1指定	天然記念物	長泉寺のコウヤマキ	大字上三川	長 泉 寺	43. 4. 1
2	〃	〃	満願寺のカヤ	大字東 汗	満 願 寺	〃
3	〃	〃	普門寺のイチョウ	大字上三川	普 門 寺	〃
4	〃	史 跡	後志部古墳群	大字上神主	共 有	〃
5	〃	〃	坂上古墳群	大字坂 上	共 有	〃
6	〃	〃	上郷瓢箪塚古墳	大字上 郷	杉 山 栄一	〃
7	〃	〃	愛宕神社古墳	大字上 郷	愛 宕 神 社	〃
8	〃	〃	かぶと塚古墳石室	大字上三川	飯 野 久 夫	〃
9	46.4.1指定	〃	多功城址	大字多 功	野沢一夫外	46. 4. 1
10	〃	有形文化財	「農業自得」の原本と版木	大字下蒲生	田 村 吉 隆	〃
11	〃	民俗文化財	五段ばやし	大字上三川	小 林 晃 外	〃
12	〃	〃	〃	大字西蓼沼	鈴 木 英 男	〃
13	〃	〃	神楽（吉田流）	大字上 郷	上郷神社外 浜野正男	〃
14	〃	〃	〃	大字上三川	白鷺神社外 上野正辰	〃
16	〃	有形文化財	脇差 菊紋山城守 藤原国清作	大字下 梁	青 柳 英 男	〃
17	〃	〃	刀 兼則作	大字上三川	遠 井 正	〃
18	47.12.1指定	史 跡	浅間神社古墳	大字上神主	浅 間 神 社	48. 3. 1
19	〃	〃	上神主廃寺址	大字上神主	稲 葉 ヨ シ	〃
20	〃	〃	多功廃寺址と礎石	大字多 功	天 満 宮 萩野矢嘗吉	〃
21	〃	〃	高竈神社古墳	大字西木代	高 竈 神 社	〃
22	〃	民俗文化財	天 棚	〃	西木代自治会	〃
23	〃	有形文化財	薬師堂	〃	〃	〃
24	〃	民俗文化財	石 幢	〃	〃	〃
25	〃	有形文化財	楼 門	大字東 汗	満 願 寺	〃
26	〃	〃	薬師堂	〃	〃	〃
27	〃	〃	薬師三尊像	〃	〃	〃
28	〃	〃	絵 馬	〃	〃	〃
29	〃	天然記念物	高竈神社のアカガシ	〃	高 竈 神 社	〃
30	49.11.15指定	民俗文化財	橋本新清流五段ばやし	大字上 郷	仁平軍治外	49.11.15
31	50.3.10指定	有形文化財	野外石仏地藏	大字上三川	常光坊自治	50. 3.10
32	〃	〃	板 碑	大字大 山	浄 光 寺	〃
33	〃	〃	駕 籠	大字上三川	普 門 寺	〃

指定 番号	指定年月日	種 類	物件（指定）名称	所 在 地	所 有 者 占 有 者	指定書交 付年月日
34	50.3.10指定	史 跡	上三川城主 横田家累代の墓	大字上三川	善 応 寺	50.3.10
35	〃	〃	多功城主 多功家累代の墓	大字多 功	見 性 寺	〃
36	〃	天然記念物	井戸川のケヤキ	大字上三川	武 藤 達 夫	〃
37	〃	有形文化財	鳥 居	〃	白 鷺 神 社	〃
38	51.4.20指定	天然記念物	上郷のヒイラギ	大字上 郷	仁 平 軍 治	51. 4.20
39	〃	〃	下蒲生のカヤ	大字下蒲生	海老原兼武	〃
41	〃	史 跡	愛宕塚古墳石室	大字上三川	上 三 川 町	〃
42	〃	〃	上三川城主 今泉家累代の墓	〃	長 泉 寺	〃
43	59.4.1指定	天然記念物	満福寺のイチヨウ	大字東蓼沼	満 福 寺	59. 4. 1
45	〃	有形文化財	薬師如来坐像	大字多 功	宝 光 院	〃
46	〃	〃	板 碑	〃	〃	〃
47	〃	〃	川中子村年貢割付状	大字川中子	稻 見 喜 正	〃
48	H.1.4.1指定	〃	釈迦如来坐像	大字上三川	善 応 寺	H.1.4. 1
49	〃	〃	不動明王立像 天部立像	大字東 汗	満 願 寺	〃
50	H.7.9.29指定	〃	薬師如来立像	大字大 山	浄 光 寺	H.7.9.29
県 指 定	42.4.7指定	〃	木造阿弥陀如来坐像	〃	〃	42. 4. 7
	H.2.1.26指定	〃	木造十一面観音菩薩坐像	大字上三川	長 泉 寺	H.2.1.26

指定文化財種類別件数

栃木県指定文化財……………総数 2 件

有形文化財 2 件

上三川町指定文化財……………総数 4 7 件

有形文化財 1 8 件

民俗文化財 7 件

史 跡 1 4 件

天然記念物 8 件

上三川町民憲章

昭和51年11月13日制定

わたくしたちは、上三川町民であることに誇り
をもち、さらに三層の発展をめざし、明るく住
みよい郷土を築くため、この憲章を定めます。

一 心身をきたえ 教養を深め

文化の高い町をつくりましょう

一 郷土を愛し 環境をととのえ

住みよい町をつくりましょう

一 互いに励まし 心をふれあい

明るい町をつくりましょう

一 勤労をとうとび 産業をさかんにし

豊かな町をつくりましょう

一 きまりを守り よい家庭を築き

平和な町をつくりましょう



町の鳥
しらさぎ



町の花
ゆうがお



町の木
いちよう

平成 8 年 2 月 1 日

上三川町教育委員会